

令和6年度
専門学校 浜松工科自動車大学校
学校評価書(学校関係者評価)



専門学校 浜松工科自動車大学校 校長 岡部 剛

浜松工科自動車大学校評価委員会 委員長 小野田 康弘

1 教育理念・目的・育成人材像

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	理念・目的・育成人材像は定められているか。	学生便覧に教育理念を記載し、入学直後のガイダンスで学生に配付した上で説明をしている。また、学科ごとにそれぞれ「3つのポリシー」を設定し、同様に学生便覧に記載している。ディプロマ・ポリシーの中に具体的な育成人材像が設定されており、ホームページ、学生便覧などで周知を図っている。	4	特になし	特になし
2	育成人材像は専門分野に関連する業界ニーズに適合しているか。	企業と連携した授業を積極的に展開し、学生が直接業界ニーズを感じることができている。 令和6年度は「職業実践専門課程」の認定を受けるために整備業界関係者を含めたカリキュラム編成委員会の開催を行う予定があり、育成人材像は専門分野に関連する業界ニーズに適合するように準備している。	4	特になし	特になし
3	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱えているか。	中期構想として第10次中期経営計画(2022～2024 年度)を策定し計画を推進している。令和6年度生より自動車システム工学科の定員を25名から40名に増員するなど、社会情勢を見越した対応を行っている。今年度は第11次中期経営計画(2025～2027 年度)を策定した。	4	新設校であるため、完成年度までは運営基盤を固める方針だが、将来に渡り安定した学校運営を行うには5～10年先を見据えた中長期経営計画の策定も必要と考える。	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

今後も教育理念に沿って教育目標を定め、また、企業や社会のニーズを取り込みながら育成人材像を創出し学校運営を継続していきます。

2 学校運営

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	理念等を達成するための運営方針と事業計画を定めているか。	第10次中期経営計画(2022～2024)を策定し、毎年度の事業計画及び予算計画に基づき運営を行っている。 ホームページには、「資金収支計算書」、「事業活動収支計算書」、「貸借対照表」、「事業報告書」、「財産目録」等が公開され、運営状況も明確にして運営方針・事業計画を明らかにしている。	4	第10次中期経営計画では、新設校である当校の経営計画は細部まで詰めた内容ではなかった。そのため年度毎の事業計画は実情に修正しながら策定したい。	リフトを使用する授業でリフト1台を使用できる学生数が限られているため授業内容を工夫する必要があると思います。
2	設置法人は組織運営を適切に行っているか。	毎年度、学校法人から組織図及び目標と方針が示され、それに従い学校運営を行っている。 各所属の組織は所属長が幹部職員の意見を参考に立案しており、適材適所による運営が行われている。	4	特になし	特になし
3	人事・給与に関する制度を整備しているか。	服務規程により人事、給与については整備されている。 人事評価は本人に開示し、上司と本人との面談を通じてその取り組みの良否を伝え助言指導を行い、本人の成長を促している。 令和6年度は物価高騰等の理由により、後期より全職員の給与が改定され処遇改善を行った。	4	特になし	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

学生数に対してリフト数は足りているため、リフト使用待ちの時間が発生しない授業展開を今後考えていきます。

3 教育活動

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。	教育理念に沿って、育成人材の目標別(科別)に教育課程の編成をしており、その実施に当たっては、教育課程表を作成して授業カリキュラムを展開している。	4	特になし	特になし
2	教育目的、目標に沿った教育課程を編成しているか。	目標達成に向かってカリキュラムを作成している。また、業界の目標にも配慮して格差が生じないように留意している。令和6年度からは教育課程編成委員会(カリキュラム編成委員会)の外部委員の意見を参考に改善を図っている。	4	特になし	特になし
3	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。	成績評価や単位認定、進級・卒業判定の基準は教務規定に明確に定められている。また、学生には学生便覧に明記して周知徹底をしている。	4	特になし	特になし
4	目標とする資格・免許は教育課程上で明確に位置付けているか。	自動車整備士の第一種養成施設の指定基準に則り教育課程を編成し、一級又は二級自動車整備士資格を取得するに必要な教育内容を設定している。	4	特になし	特になし
5	資格・要件を備えた教員を確保しているか。	国土交通省の定める教員の員数や能力は十分確保している。さらには、専門分野を担当する常勤教員は全員が一級自動車整備士の資格を有している。	3	全教員の内、半数が新規採用者で自動車整備の経験はあるものの教員としての経験を積む必要がある。	教員の採用に関して、採用の基準(1級整備士保有)を明確にしているので信頼しています。

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

教員としての経験を積むため OJT・OFFJT を積極的に実施していきたいと考えています。また、教員採用計画を立て計画に沿った採用を実施していきます。

4 学修成果

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	就職率の向上が図られているか。	企業と連携して企業奨学制度を運用し、早期に企業と学生の結びつきを深めている。令和7年3月末時点で、令和7年3月卒業生の学校斡旋就職希望者のうち1名を除いて採用内定をいただいた。令和8年3月卒業予定者のうち学校斡旋就職希望者全員が採用内定をいただいた。	3	特になし	特になし
2	資格・免許取得率の向上が図られているか。	令和6年度はソーシャル検定中級(A,E科のみ)、研削砥石特別教育、アーク溶接特別教育、タイヤ空気充填特別教育、ガス溶接技能講習に全員が挑戦した。ソーシャル検定で3名不合格となったが以外の資格は全員が取得した。危険物乙種4類は希望者のみの受験で合格率は25%、中古車査定士は全員合格であった。日本語能力検定合格率はN1:9.5%、N2:12.7%、N3:41.2%であった。	3	危険物や日本語能力検定は対策授業のシステム化を図りたい。	危険物の対策はぜひシステム化を図ってほしいと思います。また、危険物乙4は1級整備士試験に関係するため、1級進学者は受験することが望ましいと思います。
3	卒業生の社会的評価を把握しているか。	本校では、まだ卒業生がいないため評価できないが、静岡工科卒業生については、職場において技能コンクールなどで活躍し、全国大会で優秀な成績を収めていることなど、就職企業と密な関係を保ち卒業生の情報収集を行っている。	3	特になし	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

危険物乙4に関しては高い合格率となるようシステム化した対策を計画していきます。また、1級進学者への乙4受験に関しては、新カリキュラムの内容を精査し、乙4の内容がある場合には1級進学者への受験を考えていきます。

5 学生支援

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。	無料職業紹介所の届け出を行い、多数の求人獲得に努力している。静岡工科と共同で企業ガイダンスを実施し、CareerMap の運用により家庭でも企業研究、企業比較ができる体制を整備している。また学生に対しては、職業指導の基本方針を明示し、担任による就職意識の向上、書類作成指導、面接指導を行っている。	4	特になし	特になし
2	退学率の低減が図られているか。	年度初めに、最大退学人数の目標値を定め、これを越えないように学生状況を把握し、職員会議等により職員の退学率低減意識を高め、組織的に退学者の減少に務めている。 進路について不安のある学生の早期発見、早期対応に努め、その兆候が見られた場合には、担任が中心となり、学生との面談や父母等との面談を繰り返し退学を防止している。	3	令和5年度に比べ令和6年度の退学率は低下したが、退学者の中に整備業には就く気持ちがない学生がおり、こうした学生を翻意させるのは非常に難しい。	特になし
3	学生相談に対する体制を整備しているか。	学生からの相談は、主にクラス担任が対応し、更に教務課長がカバーしている。また、ハラスメントに関する相談担当者も専任化されており、保健室、面談室なども用意している。授業料等納付金に関しては総務課が、就職活動については担任又は就職指導担当者が窓口になっている。	4	特になし	特になし

4	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか。	本校独自の企業奨学・推薦制度、特待生選抜制度、日本学生支援機構の奨学金制度、入学生下宿サポート制度、指定校推薦生の入学金の一部減免等、学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能している。 また、学納金も4回に分ける分納も支援になっている。 その他、高等教育の修学支援機関としても認定されている。	4	特になし	特になし
5	父母等との連携体制を構築しているか。	父母等を正会員とする後援会組織があり、年1回実施される後援会総会後に各クラスでクラス担任と保護者との懇談会や個別相談会を実施している。1学期には保護者授業参観会、2学期には個別進路相談会を実施し、また必要に応じて電話連絡により学生の状況を父母等に連絡報告し、学生状況に関する相互理解に努めている。	4	特になし	特になし
6	卒業生への支援体制を構築しているか。	まだ卒業生がいないため評価はできないが、静岡工科に倣い、①企業担当者からの聞き取り、②インターンシップの訪問時の確認、③サービス技術コンクールでの活躍確認を行うことを予定している。 特に整備士資格未取得があった場合には就職先企業とも連携し、資格取得のフォローを行う予定がある。また、定期的に同窓会役員会を実施して、卒業後、数年経った離職者情報等を把握し、就職支援を行う予定である。	3	卒業生を輩出しないことには課題がわからない。	R6年度より卒業生を輩出していることから同窓会としてどのような関わり方が可能か考えていかなければならないと思います。

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

今後毎年卒業生を輩出していくことから、卒業生に対してイベント告知等や定期的な同窓会役委員会を計画していきたいと考えています。

6 教育環境

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか。	自動車整備士養成施設の指定等の基準により、1.教室や実習場における生徒一人当たりの面積、2.実習で使用する教材、作業用機器、計測機器、検査用機器、3.使用される教科書等について明確に規定されており、これら第一種養成施設の指定基準を満たし有効に活用している。 教育用機器、機材に関しては中期経営計画に沿って年度ごとに計画的に購入していくと共に、自動車の新技術に対応するための機器・教材等の導入等、教育環境の充実に努めている。	3	1, 2年生が使う教材については整備されたが 3, 4年生用教材及び機器の不足があり今後整えていきたい。	必要な教材があれば協力させていただきます。
2	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。	1年生に対してはそれぞれの学科について、企業が行う実習（校内）を2社ずつ、2年生に対しては1社ずつ実施した。 自動車整備科2年生については、夏季に就職内定先においてインターンシップを実施した。	4	特になし	特になし
3	防災に関する組織体制を整備し、適切に運用しているか。	災害等対策対応マニュアルを備え、教職員への地震災害時の連絡体制については Google のクラスルーム及び LINE で安否確認を行うことが示されている。 緊急時の連絡体制は学生にも周知され、ホームページで緊急時の対応策が確認できる体制がある。 災害時の備蓄品を整備し、学生数の2日分の食料等が備蓄されている。防災訓練(避難訓練)も年2回、火災、地震と目的に応じ実施している。	4	特になし	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

学生が新技術の知識を得て理解が深まるように中期経営計画に織り込まれている事業計画を計画的に執行していきます。

7 学生募集

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	学生募集を適切かつ効果的に行っているか。	学生募集活動に関しては校内ガイダンス、会場ガイダンスへの参加、模擬授業の実施、本校での体験実習及び公開授業など積極的に取り組んでいる。高校や日本語学校の見学会も積極的に受け入れている。	2	1級を志望する生徒が伸びない。 競合校の募集戦略である、「就職してから1級を目指すせばよい」という安易な考えをくつがえす必要がある。	1級志望の高校生が増えるように企業としても協力していきたいと思っています。
2	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか。	入学選考基準を募集要項で明確化し、適正に運用している。また、本校ホームページに各学科のディプロマポリシーからアドミッションポリシーを明記しており、受験生に対してミスマッチが起きないように配慮している。	4	特になし	特になし
3	経費内容に対応し、学納金を算定しているか。	各学科の学納金は、静岡工科に準じて設定されている。JAMCA 校(特に中部・関東エリア)の学納金、競合他校の学納金を参考として、経常経費依存率、人件費依存率等の諸比率を総合的に勘案し設定している。また、学生負担の軽減に対して様々な取り組みを行っている。	3	物価高騰及び職員の処遇改善により経費が増大しているため、学費の引き上げが必要な状況である。	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

自動車整備科、国際オートメカニック科は定員確保ができていることからこの状態を継続できるよう努力していきます。システム工学科の募集については1級の必要性をガイダンスや体験実習で丁寧に説明し定員確保をしていきたいと考えています。

8 財務

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか。	事業活動収支においては、令和6年度の在籍数が140名と前年度より大幅に増加したため収支も大幅に改善されたが、減価償却費による影響が大きいと、収支はマイナスとなっている。償却期間の5年経過後はプラスに転じる予定である。令和7年度の在籍数は190名であり、計画通り財務基盤は安定する見込みである。	3	人件費の増加や、減価償却費が計画より大幅に増加し教育活動経費を圧迫する状況となっている。経費節減に努めるが、学費の値上げも含め安定した財務基盤を築くよう努めていく。	安定した財務基盤を築けるように努力していただきたいと思います。
2	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか。	中期経営計画(2022～2024年度)を策定する中で、教育目標を踏まえた事業計画(活動、予算)を策定している。昨年よりは計画外の費用は減少したが、本年度も計画外の費用が生じることがあった。	3	開校2年目であるが、計画外の支出が度々あった。予算管理者が実績と整合性を図り精度の高い予算を立案する必要がある。	
3	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を行っているか。	監査法人により、「当年度事務処理状況調査、及び財務諸表各項目」について厳正に監査を行っている。 財務運用の業務そのものについても、法人本部による内部監査で問題がないか確認している。	4	特になし	
4	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか。	当校は新設校のため、その母体である静岡工科の当年度財務諸表一式、及び、その前3か年の主要財務数値を、HP上に公開し、第三者からその財務状況が十分確認できる状態に維持している。	4	特になし	

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

減価償却の影響が大きいとはいえ無駄な支出をできるだけ抑え、中期経営計画における資産目標を達成できるように努力すると共に減価償却の影響が小さくなる R9年度は収支がプラスとなるよう学生募集を着実にを行い、定員確保を目指していきます。

9 法令順守

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか。	令和5年に専修学校設置基準に則り、専修学校専門課程の設置認可を受け、また、第一種自動車整備士養成施設の指定も受け、その基準の中で運用を続けている。併せて自動車特定整備工場の認証も受け、関係法令に従って運用している。	4	特になし	特になし
2	職業実践専門課程の認定要件を満たし、適正な教育運営を行っているか。	職業実践専門課程の認定申請は卒業生を出した翌年度からと定められているため、自動車整備科は R7 年度、国際オートメカニクは R8 年度、自動車システム工学科は R9 年度に申請予定であり、そのための準備を進めている。	3	令和7年度は自動車整備科の認定申請を行う。	特になし
3	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか。	個人情報保護規程を策定し、内外に公表するとともに、校内で徹底している。 年に1回、法人本部の内部監査で、規程に沿って、個人情報取扱われているかどうかを確認している。	4	特になし	特になし
4	自己点検評価、学校関係者評価を適切に行っているか。	自己点検評価は令和5年度分から取りまとめている。学校関係者評価は令和6年度から実施し、結果を本校 HP に掲載している。	4	特になし	特になし
5	教育情報について定期的に公表しているか。	科目等の概要についてシラバスに記載し本校ホームページで公開している。	4	令和5年度の教育実績について公開済みである。	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

R6年度より順次職業実践専門課程の認定申請が可能となるため着実に実行していきます。

10 社会貢献・地域貢献

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	学校の教育資源を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか。	中学生、高校生の職場体験実習の受け入れ、エンジョイ・カードクターへの出展、お仕事フェアへの出展、静岡カーフェスティバル 2024の協力等広く自動車業界、整備業界のPR活動に参加している。 また、県自動車整備振興会への講師派遣も行っている。	4	特になし	地域貢献に協力できることがありましたら相談してください。
2	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか。	本年度はボランティア支援の依頼がなかったため、実施の機会がなかった。	3	依頼を待つスタンスから依頼を探す方向にシフトしたい。	

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

R7 年度浜松カーフェスティバルを開催するのを皮切りに地域に密着した学校づくりを行っていきたいと考えています。

11 国際交流

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	留学生の受け入れ	留学生の受け入れについては、二級整備士資格を3年間で無理なく取得できるカリキュラムを有した「国際オートメカニク科」を設置し、令和6年度在籍48名であり、全員が整備士資格を取得し、日本国内に就職することを目指している。	3	特になし	校内で留学生とのコミュニケーションを取る機会があればよいと思います。

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

授業や校内行事を工夫して留学生と日本人とのコミュニケーションを取る機会を設けていきたいと考えています。

職業実践専門課程認定要件適合評価

12 職業実践専門課程の認定要件

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	教育課程編成委員構成、開催回数、教育課程の編成内容	教育課程の編成・実施の方針については学校として、また各科ごとに「カリキュラムポリシー」が文章化されている。 教育課程の編成における企業等との連携については「浜松工科自動車大学校カリキュラム編成委員会」を組織し、静岡県整備振興会より1名、就職関連企業から1名の参加により、合計2名の外部委員と学内委員との構成によりカリキュラム検討を年二回実施している。 また、議事録はホームページでも公開している。	4	特になし	特になし
2	企業等と連携した実習・演習等の実施	1 学年については、定期点検実習科目で外部ディーラーの方に授業指導を行っていただいている。また 2 学年については、大型車両実習科目で外部ディーラーの方に授業指導を行っていただいている。 それらの科目については、企業の方に試験問題を作成いただき外部評価を受ける形をとっている。	4	特になし	特になし
3	企業等と連携した組織的な教員研修の実施	教員のFD活動については、教育力の向上を目的に積極的に外部の講習に参加している。 ・自動車整備振興会主催の新技術研修に対しては、教職員全員が参加し先進技術の修得に努めている。	4	特になし	特になし

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
4	学校関係者評価の実施・公表	学校関係者評価委員会のメンバーとしては業界関係者として自動車整備振興会、就職関連企業、父母等、それぞれの代表で合計3名での運営をしている。年1回開催し、学校関係者との理解促進や連携協力を図るとともに、自己点検自己評価報告に対する助言・意見などの結果を教育活動および学校運営の改善に活用する予定である。また、学校関係者の確認を得た自己点検評価報告書はホームページ上で公開している。	4	特になし	特になし
5	ホームページにおける情報提供	自己点検評価および学校関係者評価委員会議事録等は HP に定期的に公開している。 職業実践専門課程の報告様式である様式 4 についても HP にて公開、更新を行っている。	4	特になし	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

職業実線専門課程の認定に必要な条件はすべて実行し満たしていると考えます。今後、令和7年度：自動車整備科、令和8年度：国際オートメカニック科、令和9年度：自動車システム工学科の順で職業実線専門課程の認定を申請します。

国土交通省自動車整備士一種養成施設指定基準に基づく評価(分野別評価・機関評価に相当)

1 教育理念・目的・育成人材像

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	道路運送車両法 第1条に基づき自動車整備士の養成を目的としているか。	道路運送車両法の目的である自動車整備技術の向上、コミュニケーション能力を備えた人材の育成を通して、社会の要望に添える整備士の養成をしている。 目的の達成のため、国が定めた自動車整備士養成等の指定基準に適合した施設・教育者等を整備し、新技術に対応した教育等の実施、コミュニケーション能力、情勢を的確に分析しその変化に柔軟に対応できる能力及び国際性を持ち合わせた人材の育成により、社会のニーズを達成できる整備士の養成に努めている。 また、当校は特定整備事業の認証を取得しており、実践的な作業を経験できる環境となっている。	4	特になし	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

今後も、自動車整備士の育成を主目標として教育活動を行っていきます。

2 学校運営

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	道路運送車両法 部長 業務取扱通達別表「添 付書類一覧」添付書類 1. 2. に基づき運営さ れ、国交省の定期調査 によって承認されている か。	令和5年に自動車整備士養成施設の指定を受け、申請書 等に記載されている整備士養成に係る課程の種類、修業 年限、教育時間単位、教育を実施する施設・設備、当該課 程修了及び成績判定基準等について基準に即して運用し ている。 また、ディプロマポリシーの制定により、自動車整備士資格 を取得し社会で活躍するための卒業要件を明示し、その教 育に対する評価のシステムも充実させ、その到達レベルを 保証している。	4	特になし	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

国交省の定期調査はまだ受けていませんが、令和5年度に自動車整備士養成施設の指定を受けた際の審査で問題ないことが証明され、また、令和5～7年度の年度初めには「変更届」を提出し、更には令和6、7年度初めに「実績報告」も実施し、すべて問題はありませんでした。今後も自動車整備士養成施設の指定基準に則り期限までに各種申請書を提出していきたいと考えています。

3 教育活動

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	道路運送車両法 部長 業務取扱通達別表「添付書類一覧」添付書類6. 7. に基づく教育内容で運営され、国交省の定期調査によって承認されているか。	令和5年に第一種自動車整備士一種養成施設指定申請を行い指定を受けた。令和6年度はその内容に従い教育活動を行った。	4	特になし	特になし
2	部長 基準取扱通達 別表「添付書類一覧」添付書類7. の基準に基づく教育内容で教育計画表(二級課程及び一級課程)を作成し、それによって運営され国交省の定期調査によって承認されているか。	令和5年に第一種自動車整備士一種養成施設指定申請を行い指定を受けた。令和6年度はその内容に従い教育活動を行った。	4	特になし	特になし
3	部長 業務通達第4 養成施設の報告の基準に基づき教育実績が年度毎報告され、国交省の定期調査によって承認を受けているか。	令和5年度の実績は令和6年4月に中部運輸局へ報告済みである。令和6年度の実績は令和7年4月に中部運輸局へ報告予定である。	4	特になし	特になし

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
4	部長 業務取扱通達 別表「添付書類一覧」添付書類4.5に基づく教育の資格および配置により運営し、国交省の定期調査によって承認されているか。	令和5年に第一種自動車整備士一種養成施設指定申請を行い指定を受けた。令和6年度はその内容に従い教育活動を行った。 また、令和6年度に新採用教員が3人増えたことと、令和7年度から二級整備士養成課程が新基準に切り替わることから、令和7年度当初に大幅な変更届を行う。	4	特になし	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

国交省の定期調査はまだ受けていませんが、令和5年度に自動車整備士養成施設の指定を受けた際の審査で問題ないことが証明され、また、令和5～7年度の年度初めには「変更届」を提出し、更には令和6、7年度初めに「実績報告」も実施し、すべて問題はありませんでした。今後も自動車整備士養成施設の指定基準に則り期限までに各種申請書を提出していきたいと考えています。

4 学習成果

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	部長 業務通達第4 養成施設の報告の基準に基づき資格合格率等が年度毎報告され、国交省の定期調査によって承認を受けているか。	令和6年度分の実績を令和7年4月に報告するよう準備をしている。国交省による定期調査はまだ行われていない。	3	特になし	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

国交省の定期調査はまだ受けていませんが、令和5年度に自動車整備士養成施設の指定を受けた際の審査で問題ないことが証明され、また、令和5～7年度の年度初めには「変更届」を提出し、更には令和6、7年度初めに「実績報告」も実施し、すべて問題はありませんでした。今後も自動車整備士養成施設の指定基準に則り期限までに各種申請書を提出していきたいと考えています。

6 教育環境

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	局長通達 教場、必要設備等一覧表の基準に基づき配置され、国交省の定期調査によって承認を受けているか。	令和5年に第一種自動車整備士養成施設の指定申請を行い、教場、必要設備等一覧表の基準に基づき配置されていることが確認されている。	4	特になし	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

国交省の定期調査はまだ受けていませんが、令和5年度に自動車整備士養成施設の指定を受けた際の審査で問題ないことが証明され、また、令和5～7年度の年度初めには「変更届」を提出し、更には令和6、7年度初めに「実績報告」も実施し、すべて問題はありませんでした。今後も自動車整備士養成施設の指定基準に則り期限までに各種申請書を提出していきたいと考えています。

9 法令の順守

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	道路運送車両法の 一種養成施設設置 基準に基づく学校運 営を行っているか。	令和5年に第一種自動車整備士一種養成施設指定申請を行い指 定を受けた。令和6年度はその内容に従い教育活動を行った。	4	特になし	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

国交省の定期調査はまだ受けていませんが、令和5年度に自動車整備士養成施設の指定を受けた際の審査で問題ないことが証明され、また、令和5～7年度の年度初めには「変更届」を提出し、更には令和6、7年度初めに「実績報告」も実施し、すべて問題はありませんでした。今後も自動車整備士養成施設の指定基準に則り期限までに各種申請書を提出していきたいと考えています。

自動車整備士分野の教育の質保証・特徴化に向けた取り組み内容の評価(分野別評価に相当)

3 教育活動

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	教員の専門性向上、教育力向上に向けた特徴ある取り組みや成果	学園として「エコアクション21」の認証を取得し、環境を意識した教育を実践している。新採用教員についてはベテラン教員が手本を見せ、それを模して授業展開させている。FD 推進の分掌を準備し、教育の DX 化、研修制度の充実について実現を図っている。	3	特になし	特になし
2	教育の質保証、質向上に向けた教育内容やシステムにおける特徴ある取り組みや成果	「工科技能検定の実施」 実習科目において修得した技能を科目の履修判定試験の他に総合的に評価する独自の技能検定を学生全員を対象に実施し評価している。	4	特になし	工科技能検定は1年の総復習となるため今後も継続してもらいたいと考えています。

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

工科検定は継続して実施し、検定試験に類似したより実技試験としてふさわしい問題となるように改良していきたいと考えています。

4 学修成果

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	国家資格の合格に向けた特徴ある取り組みや成果	平成 27 年以降の二級自動車整備士問題をデジタル化し、ペーパーレスで実施できるようにした。	4	年度更新(追加)の必要がある。	特になし
2	就職率、就職の質向上に向けた特徴ある取り組みや成果	企業と連携し、企業奨学生制度を導入する中で、奨学生が早期から複数回、企業と接触する機会を作り、企業の中身をよく知った上で採用試験を受験している。こうしたことがミスマッチを防ぐことにつながっている。	4	特になし	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

今後の入学生はパソコンにある程度精通した学生が入学してくるため、授業・対策共に DX 化を促進していきたいと考えています。また、整備士対策では問題の年度更新を確実に実施していきます。

0 全般

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	その他学校としての特筆すべき特徴ある取り組みや成果	「常勤教員はすべて1級整備士」 教員の採用に際し1級取得を必須としており、優秀な教員の獲得に努めている。 「企業奨学生制度 協力企業130社以上」 学費負担軽減及び早期に就職先が決定する企業奨学生制度を推進しており、入学生の獲得に効果を発揮している。 「3つのポリシー制定」 学校並びに学科ごとにそれぞれ「3つのポリシー」を設定している。ディプロマ・ポリシーの中に具体的な育成人材像が設定されており、ホームページ、学生便覧、教室での掲示などで周知を図っている。 その他カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーの公表により、学校運営や教育内容について個々の項目ごとにポリシーに準拠している科の認識が高まり、高い教育の質を実現するための指針となっている。	4	特になし	採用状況次第では職員の採用条件を見直すことも必要であるかもしれません。

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

教員の採用に際しては募集状況を鑑みて資格条件を見直していきたいと考えています。また、上表に記載されたもの以外で取り組むべきことあるいは取り組んだ方が良いことがあれば、積極的に取り入れて参ります。